

はじめに

誰もが生涯にわたり元気に暮らすための基盤として、健康の重要性が一層高まっており、日頃から心身の健康を保つための健康づくりに取り組むことが求められています。少子高齢化に伴う人口構造の変化や、技術革新によるデジタル化の進展により生活環境は大きく変化しており、また、多様な価値観が広がるとともに、働き方やライフスタイルの選択肢が増える一方、地域社会におけるつながりの希薄化も進んでいます。

本町では、平成26年3月に策定した「岡垣町第2次健康増進計画」および平成31年3月に策定した「岡垣町自殺対策計画」に基づき、町民の皆様とともに健康増進と自殺対策に取り組んでまいりました。

この計画期間中には、新型コロナウイルス感染症の流行があり、これまで経験したことのない社会的制約や生活様式の変化を余儀なくされました。長期にわたる自粛生活や感染拡大への不安から、外出や人との交流が減り、家で過ごす時間が増えるなど、生活習慣に変化が生じました。その結果、体を動かす機会や地域の交流が減少するなど、心身の健康面での新たな課題が生じています。

このような課題を踏まえ、令和7年3月に「岡垣町第3次健康増進計画」と「岡垣町第2次自殺対策計画」を策定しました。計画の推進にあたっては、健康寿命の延伸を目指し、町民一人ひとりが自分や家族の心身の健康に関心を持ち、主体的に、また地域社会とともに健康づくりを実践していくことや、社会全体で自殺のリスクを減らしていくことが重要です。

これらの計画を基に、"誰もが元気で自分らしく暮らせるまちづくり"や"誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現"を目指し、こどもから高齢者まで生涯にわたる身体と心の健康づくりを、家庭、地域、関係機関、行政が連携して取り組んでまいります。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、熱心にご協議いただきました健康づくり推進協議会委員の皆様をはじめ、ヒアリングにご協力いただきました関係団体の皆様、アンケート調査等を通じて貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆様に心から感謝申し上げます。



令和7年3月 岡垣町長 門司晋